

第58回富山県発明とくふう展 内容説明書(令和2年度)

受付番号	501	学校No.	189
ふりがな	まさき こはる	学校名	福光中部小学校
氏名	正木 瑚春	学年	5年
ふりがな	くらいん まく ぼくす		
作品の名称	らくらくグリーン・マスク Box		
(特徴)	フロア感せん予防のため、毎日マスクを使用しています。新しいマスクを、せいけつに取るためにどうすれば良いか考えました。他のマスクをさわらず自分のマスク1枚だけ取り出せるように工夫しました。		
(使い方)	①左右のレバーを手前に回す。 ②マスクが少し出て来たら取る。(1枚ずつ出て来る)		
	・何度もためた結果うらにセットするマスクは、10枚くらいが良い。 ・ほこりがつかないようにフタを作った。 上のビー玉が重りになって、出しやすくなった。 ・回すレバーが軽いと、箱が動いてしまったので、安定するように、レバーのほうにも重り(小豆)を入れた。		
◇ 作品を作った動機や参考にしたものがあれば、下記 () の中に○印をつけて下さい。			
① ()	テレビ、科学雑誌、参考図書など		
② ()	発明くふう展、科学館、大学祭、各種のイベントから		
③ (○)	講師や先生、両親などからヒントをもらった		
④ ()	発明クラブ、理科の学習、各種工作教室から		
⑤ ()	その他、自分で考えた		

略図(鉛筆書きでもよい)又は写真を貼り付けて作品の特徴を説明して下さい。(※太枠内でご記入ください)

第58回富山県発明とくふう展 内容説明書(令和2年度)

マスクを1枚ずつ出せるようにみぞを作った。みぞの深さを調整することが、とてもむずかしかった。

完成

左右レバーにしたほうも、重りを入れて、回転時に箱が安定するようにした。

マスクにほこりがつかないようにすることし、重りにするためにビー玉を取、手にしていたを作った。

マスクが落ちないようにダンボールをななめにした角度の調整がむずかしかった。

横にあるほうを手前にくるくると回すと1枚ずつマスクが出てくる。

【記載注意事項】

1. この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
2. 従来のもの(方法)と比べて、どこを(何を)どのようにくふうしたか、要点をわかりやすく、図または写真でご説明下さい。
3. 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
4. この内容説明書は出品申込書と一緒に一覧表を添えて、令和2年9月18日(金)までに事務局へ提出して下さい。